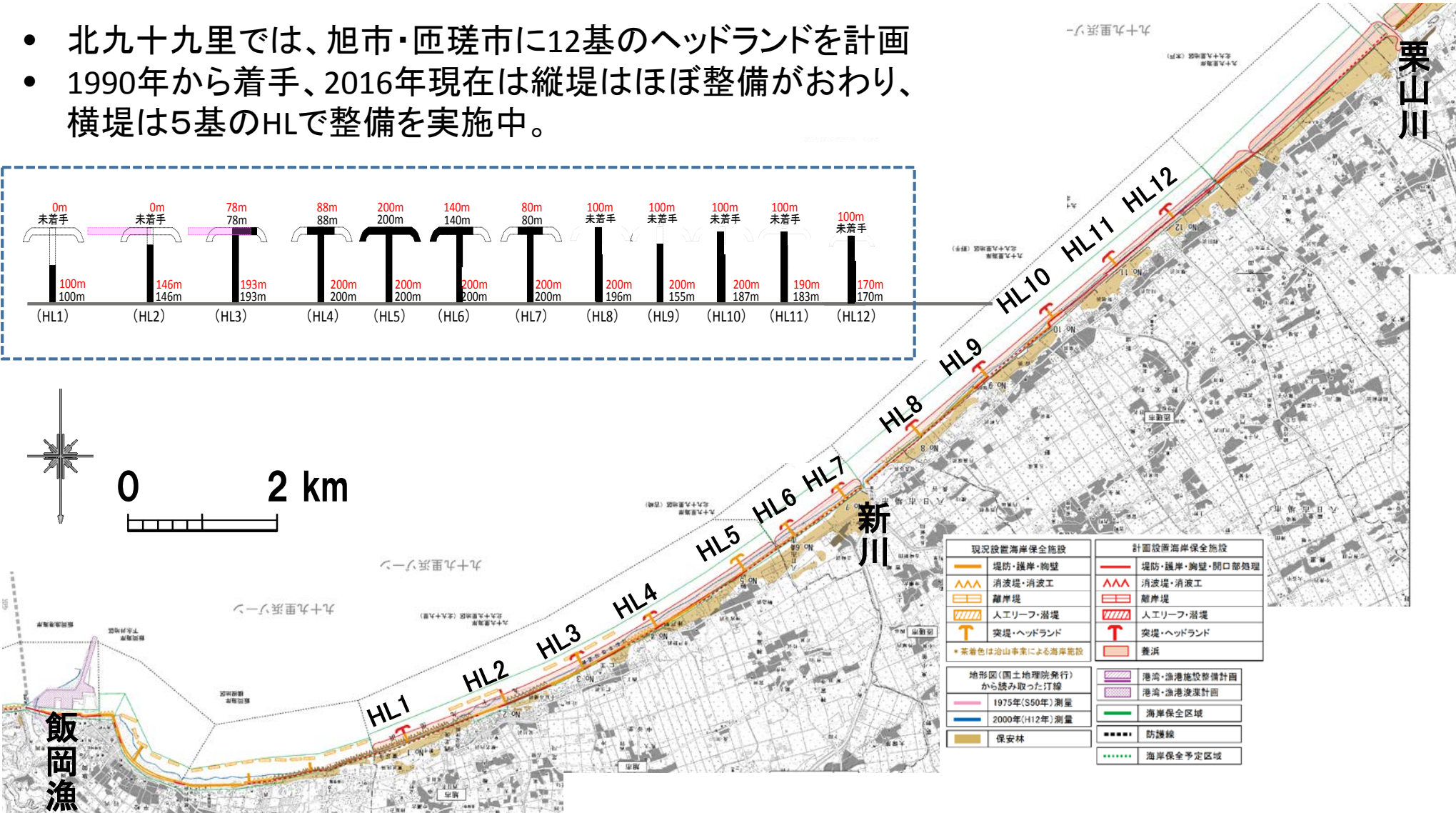
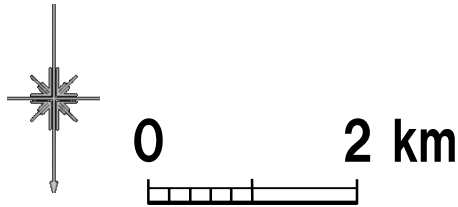
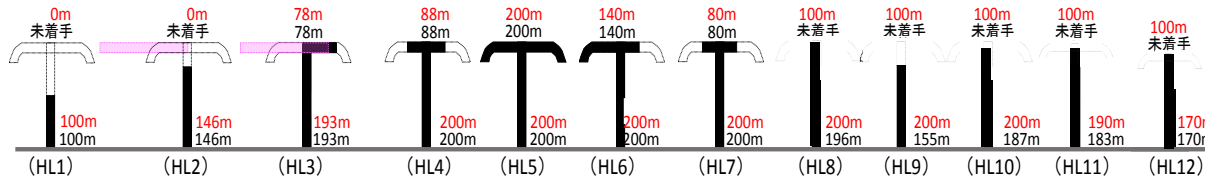


(7) これまでに行ってきた侵食対策について

① 千葉東沿岸海岸保全基本計画と整備状況(北九十九里)

- 北九十九里では、旭市・匝瑳市に12基のヘッドランドを計画
- 1990年から着手、2016年現在は縦堤はほぼ整備がおわり、横堤は5基のHLで整備を実施中。

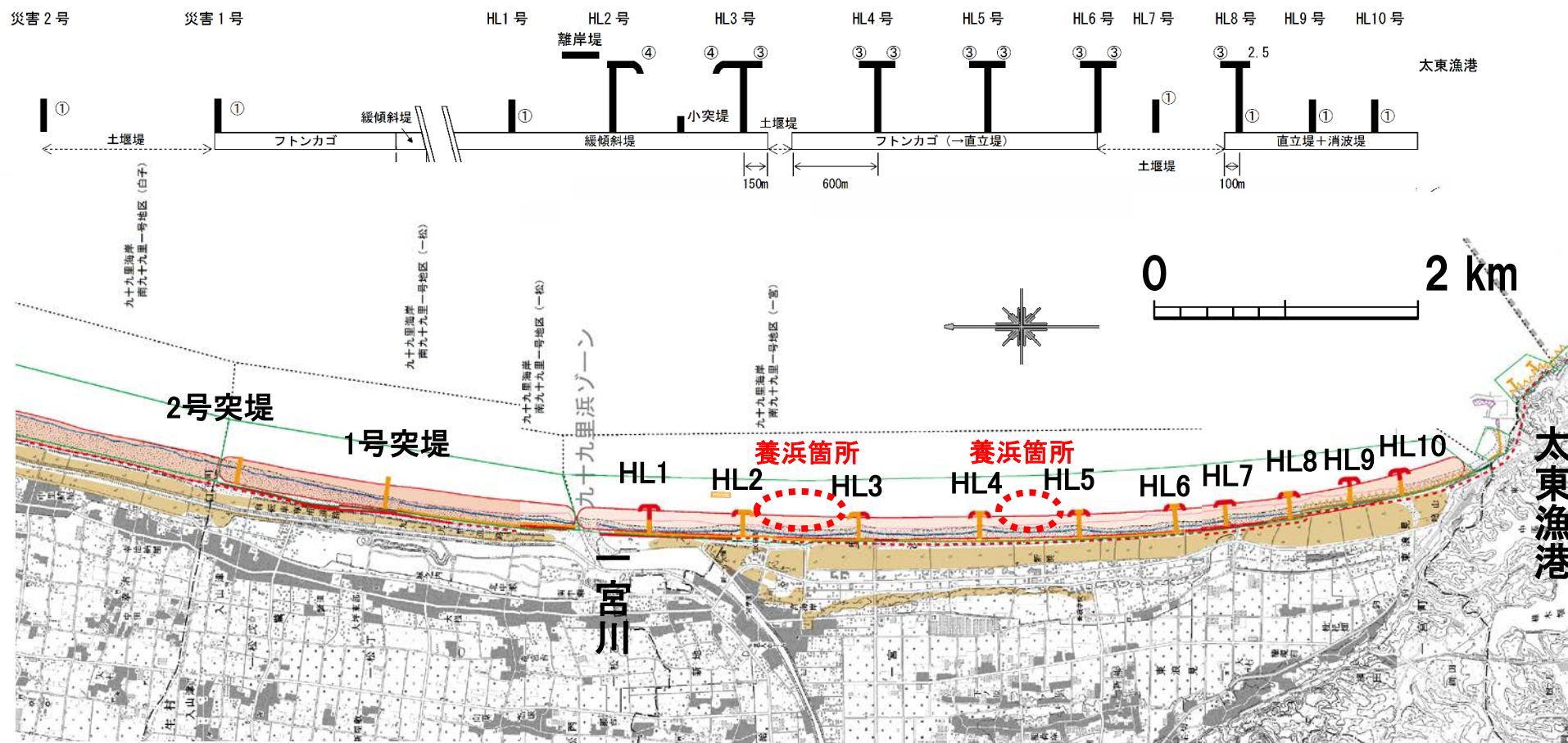


(7) これまでに行ってきた侵食対策について

② 千葉東沿岸海岸保全基本計画と整備状況 (南九十九里)

- 南九十九里では、一宮町と長生村に10基のヘッドランドを計画
- 1988年に整備着手し、2016年現在は縦堤はほぼ概成。
- 2000年に一松海岸に2基の突堤を整備。
- 養浜はHL4-5間で2005年～2007年に4万m³、HL2-3間で2008年から実施(2016年までに16.9万m³)

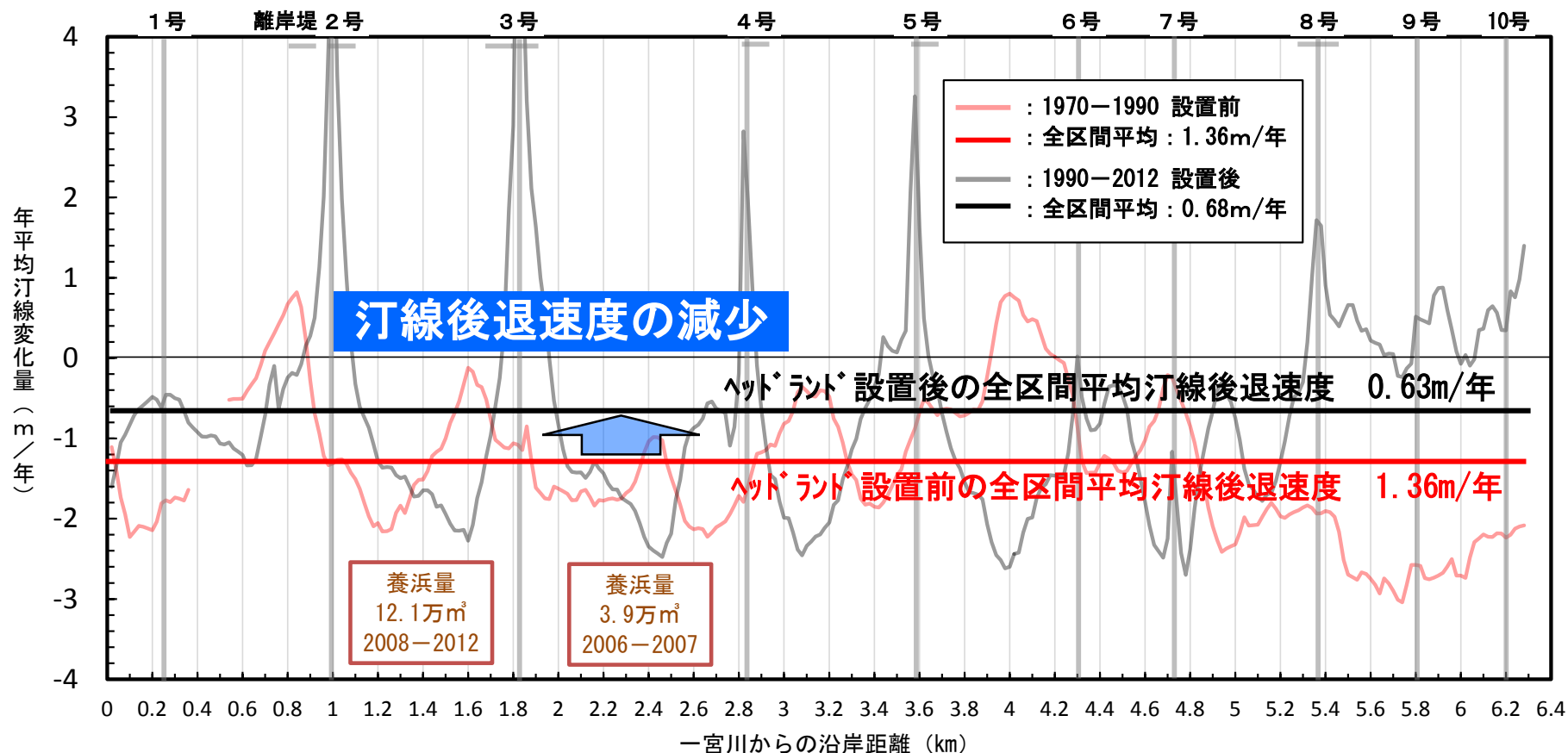
①	縦堤 100m完成
②	縦堤 200m完成
③	横堤 50m完成 (片側)
④	横堤 100m完成 (片側)



(7) これまでに行ってきた侵食対策について

③ これまでの侵食対策(ヘッドランド等)の整備効果(一宮海岸)

【一宮海岸におけるヘッドランド設置前後の汀線後退速度】



一宮海岸では、ヘッドランドの設置によって汀線後退速度は、一宮海岸全域の平均で1.4m/年(1970-1990年)から0.7m/年(1990-2012年)に低下しており、整備効果が現われている。しかし、現状でも砂浜は減少傾向を示している。